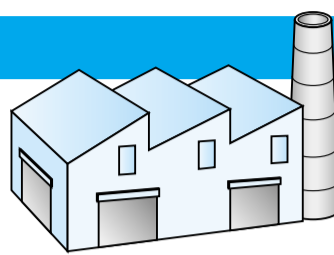
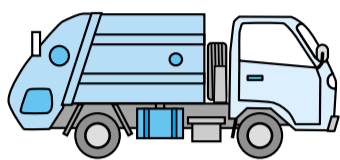


プラスチック製容器包装は、**分別のご協力により、資源**として有効活用されています。

4月から新しい分別がスタートして3ヶ月が経ちました。皆さんが分別したプラスチック製容器包装は再商品化工場でリサイクル処理され、製鉄所で利用する原料に生まれ変わっています。

プラが生まれ変わるまで



再生された化学原料(4月~6月)
 炭化水素油 約360トン
 コークス 約180トン
 コークス炉ガス 約360トン
 ※焼却しないことによるCO₂発生抑制量 約3,000トン

混ぜないでください。

食べ残しの入った弁当容器などの汚れたものや歯ブラシなどは、リサイクルできないため、手で選別をしています。

4月~6月の回収量の約10%はリサイクルできないものが混入されていました。

より有効な資源リサイクルのために、分別にご協力をお願いします。

可燃ごみに出していないですか？

紙箱、包装紙、紙袋も

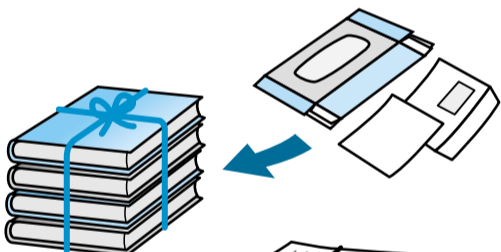
雑がみ(資源)としてリサイクルしています！

可燃ごみとして出される家庭のごみの中には、分別すればリサイクルできる紙類が多く含まれています。区では、紙箱(菓子、ティッシュなどの箱)、包装紙、紙袋などは雑がみとして、雑誌と一緒に「古紙」の日に資源回収しています。下の絵を参考に雑がみの分別にもチャレンジしてみてください。

古紙(4分類)

雑誌・雑がみ

※雑誌と雑がみを一緒に束ねて出してください。



新聞

※新聞・折り込みチラシのみ
 ※雑がみを入れないでください



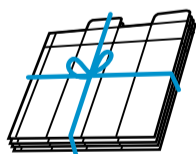
段ボール

※断面が波状になっているものが段ボールです
 ※雑がみを入れないでください



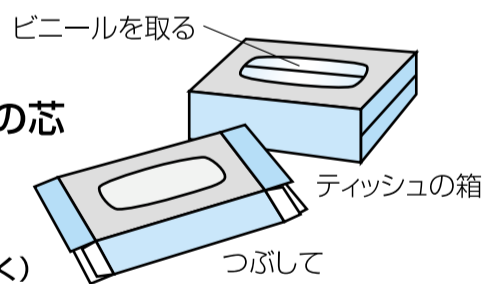
紙パック

※裏面にアルミがついていないものです
 ※洗って開いて乾かし、ひもで束ねて出してください

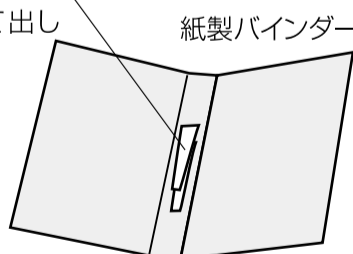


家庭に多い雑がみ

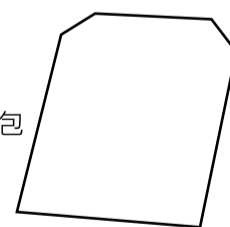
- 菓子・ティッシュなどの空き箱
- 包装紙・紙袋
- メモ用紙・カレンダー
- 台紙
(ヨーグルトパックを乗せてある台紙、洋服などの個別包装の中の台紙など)
- 紙製バイダー
- ノート・コピー用紙
- トイレトペーパー、ラップなどの芯
- パンフレット
- ダイレクトメール
(圧着はがき、ビニール加工されたものは除く)



金具・プラスチック部分は取って出してください

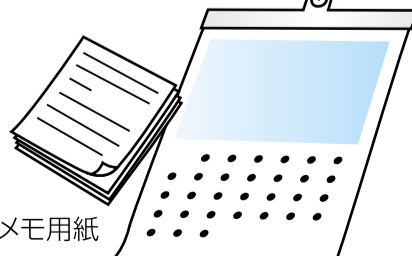


洋服などの個別包装の中の台紙



ビニール加工された持ち手は除く

金具部分を取って出してください



雑がみの出し方

雑がみを雑誌などと一緒にひもで束ねて午前8時までに各集積所に出してください。雑誌がない場合は、ひもで束ねるか紙袋に入れて出してください。(ただし、食品などの汚れや、洗剤などのおいが付着しているもの、感熱紙、防水加工紙、シュレッダー紙などを除きます。)

粘着テープ類、ビニール、金属類、プラスチック類、ビニール類ははずして出してください。個人情報の記載があるものは取り除いてください。
 ※雨の日も同じように出してください。